

令和6年11月1日発行

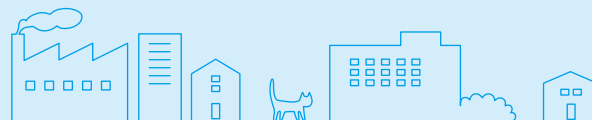
TAKETA Gikai News



竹田市議会

- 一般質問 …… 2～6
- 予算特別委員会 …… 7
- 議決結果 …… 8～9
- 「任意制選挙公営制度」
の導入について …… 10
- 行政視察報告 …… 11





9月10日・11日・12日、9人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。



阿南 智博

行財政

都市計画税について

Q 竹田市は都市計画区域内の土地、建物に対し都市計画税を課税しているが、現状では市街化が進む状況ではなく、また、多くの都市計画事業も変更や廃止されており従前通り課税を続けることは負担の公平性に欠けるのではないか。

A 都市計画税は法令等に基づいて適切に課税している。この税は納税者にメリットがあるような受益者負担という性格ではなく、区域内の土地、建物の管理者が負担するものである。公平性については理解いただけるよう説明していく。

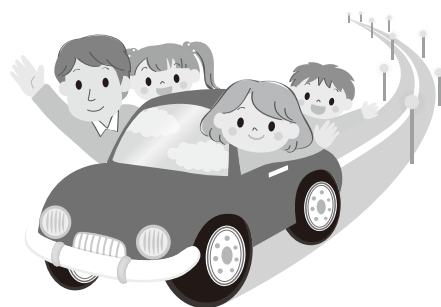


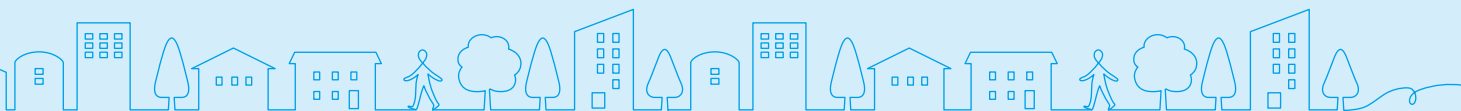
観光

観光振興について

Q 中九州横断道路は犬飼・宮河内間がルート決定され全容が見え始めた。竹田阿蘇道路も地域振興や観光振興の戦略を早期に確立して、予算要望や、観光客誘致などに活用していくべきではないか。

A 総合計画でも掲げる新たなインターチェンジを活用した周遊を図る。通過点ではなく目的地とされる滞在型観光を推進する。





なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。



🎙️ 阿部 雅彦

..... 観 光
観光振興について
.....

Q 竹田市のどのような魅力をどこの国の外国人観光客に情報発信するのか。

A 竹田市ならではの高付加価値な旅や竹田の暮らしの魅力を体験できる旅を目指す。相手国としては、アクセスの面から阿蘇くまもとと空港に直行便のある韓国、台湾、香港が重要であると考えている。

Q 接客やサービス等の対応については、先進地に学ぶ必要があるのではないかな。

A 阿蘇市をはじめとする多くの先進地から学ぶ機会を増やす。



Q このインバウンドの取組は、観光業に携わる者だけでなく、多くの市民の皆さんとの共通理解の中で進めていくべきではないか。

A 竹田市商工観光団体連携協議会主催のインバウンド講演会には50名の市民の参加があった。これからの取組も、多くの市民と考えていかなければならない。

用語解説

※インバウンド…外国人の訪日旅行や訪日した外国人旅行者のこと



その他質問

- ・労働力の確保について
- ・市役所本庁周辺の環境整備について



🎙️ 後藤 建一

..... 行財政
人口減少対策について
.....

Q 転出が増えている。ここ3年間の転出先と年齢層をどう把握しているのか。

A 過去3年間に転入者494人、転出者694人。年代別は、20代30代そして10代の順。転出先は大分市や豊後大野市等の近隣の都市部。

Q 家庭を持ち生活の安定を重視する30代40代の転出を防ぐためどう取り組むのか。

A 若い世代の出産・子育ての希望を叶えるため、子育て環境と住環境の支援を推進している。また住宅用地は、中九州ニュータウンに続く宅地について庁内関係各課でチーム編成し検討している。

Q 消滅可能性自治体からの脱却は、若年女性の定着が重要と聞く。若年女性定着の政策をどう展開するのか。

A 女性の雇用機会の創出や創業支援、若年層のコミュニティづくりに取り組んでいる。その成果も出ており、良い方向にある。



その他質問

- ・訪問介護事業について
- ・庁舎に求められる機能について
- ・入田中島公園について



熊野 忠政

教育

部活動の 地域移行について

Q 公立中学校の休日における部活動の地域移行について本市の現状と課題は。

A 令和5年4月より吹奏楽が2校、令和6年4月より剣道が1校、陸上は4校と竹田支援学校が地域クラブとして活動に参加している。課題は指導者や受皿となるスポーツ団体の確保と地域クラブの運営資金不足である。

Q 今後、どのように取り組んでいくのか。

A 令和8年4月には市内すべての部活動の休日の活動を地域クラブに移行することを目標としている。部活動検討委員会で指導者や受皿団体の調整、部活動の意義や役割の継承、及び安全対策等の指導者研修、クラブの運営資金等について協議しながら進めていく。

Q 保護者の経済的負担増に対する対応は。

A 地域クラブ移行に向けて、試行期間での課題を整理して、送迎や運営資金等について現在検討している。県や国の補助を活用しながら、目的に沿った休日の部活動の地域クラブ移行ができるよう今後も取り組んでいく。



その他
質問

- ・中九州横断道路（竹田阿蘇道路）について
- ・市道の維持管理について



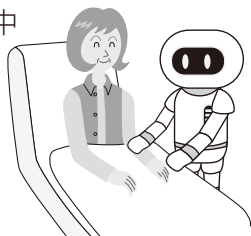
工藤 忠孝

福祉

高齢者の 介護支援について

Q 介護ロボット導入事業所の現状は。

A 今年4月時点で介護ロボットを導入している介護保険事業所は13法人中7法人である。



Q 人員不足が著しい介護士の継続勤務奨励金やケアマネジャーの支援金創設を考えてはどうか。

A 介護士については、どのような事業が効果的か引き続き研究していく。

ケアマネジャーについては、国の動向、当市協議会の協議内容を参考に今後も研究していく。

医療

竹田市立こども診療所について

Q 現体制での診療再開を目指しているのか。

A 5月27日に、こども診療所検討委員会を設置した。問題点及び運営体制についての調査・検証を諮問している。その答申を参考にして決定していく。

Q これまで10人近い職員がメンタルの不調を訴えている。医師によるパワーハラスメントの疑いは考えられないか。

A パワーハラスメントが疑われる事案ではないかという情報が入っているのは事実。長時間勤務や教育という名の下に行き過ぎた指導が行われているのではないかと疑問に思っている。検討委員会で議論していく。





🎙️ 賀籠六 めぐみ

行財政

会計年度任用職員の働き方について

Q 竹田市の職員数（正規職員と会計年度任用職員）の推移は。

A 地方公務員法改正後、令和6年度の正規職員は327人。会計年度任用職員は239人で職員全体の約42%。

Q 会計年度任用職員が働き方について相談する窓口はあるか。

A 直属の上司に相談しにくい場合には、総務課、教育総務課に相談する体制を取っている。



萩・久住・直入公民館の運営管理について

Q これからのあり方について市長の考えを伺う。

A 施設の老朽化が問題。保有総量の軽減を図りたい。「つどう・まなぶ・むすぶ」を強化し、公民館活動の更なる充実を図っていきたい。

Q 老朽化により危険な箇所の早期点検や必要な修繕を行うべきではないか。

A 毎年数百万円の修繕が必要になっている。今後も生命に直結するようなことがあれば、早急に対応する。ドイツ村簡易宿泊施設の調理場の空調については来年度検討する。



ドイツ村調理場



🎙️ 佐藤 市蔵

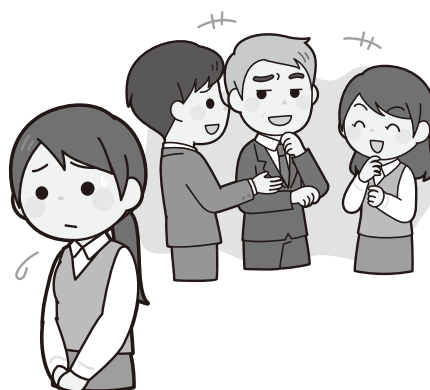
社会

竹田市のハラスメント対策について

Q 竹田市職員ハラスメント防止要綱は平成20年に定められている。パワハラ・セクハラが対象である。現在はテレワーク、男性の育休取得など社会情勢が大きく変化し、50を超えるハラスメントがあると言われている。対象については職員間のみで、特別職や議員も対象にするべきと考える。要綱は、行政機関内部の内規であって法規としての性質はない。処分も法的拘束力がないことから市単独の条例を定めては。

A 現要綱は職員間のみ対象で、特別職、議員は含まれていない。またマタニティー・カスタマーハラスメントなどが社会問題になっている。現要綱では、様々なハラスメントに対応するた

めの措置が不足しているので、早急に現状に則したものに直す必要があると考えている。議員を対象に含める事については、今後、議会と協議して行く。



その他
質問

- ・部活動の地域移行の取組みと課題について
- ・事業承継の取組みについて

上島 弘二

環境

祖母・傾の眺望問題と
申し送りについて

Q 竹田中学校のグラウンドの樹木が成長し、祖母・傾が望めなくなった。再び望めるように配慮願いたいという市民の声が度々あった。この件に関する申し送り等はあるか。またその都度の対応はどうか。

A 申し送りに従い、適宜処理している。



介護報酬問題について

Q 本年4月、訪問介護サービスの基本報酬が2～3%引き下げられたが、その影響を各事業所に伺うと、物価の高騰で赤字が続いている。また介護人材の高齢化と不足など各事業所の悲痛な声がある。訪問介護の現状を把握し、県や国に対し、緊急支援を要請する考えがないか。

A 地域の実情に応じた訪問介護の報酬引き上げを求める要望書を県市長会が提出。国に対しても強く要請して行く。



本郷 敦子

農業

中山間地域等
直接支払制度について

Q 中山間地域等直接支払制度は竹田市の農業には欠かせないが、高齢化や後継者不足から制度の維持が厳しい。耕作放棄地の増加、対象地域の減少、集落定数の減少等、多数の問題も発生している。こうした課題と今後の見通しを伺う。

A この制度は国や地方自治体が集落を支援する制度として平成12年に創設。5年間で1期の対策期間。今年度は第5期の最終年度となり25年が経過する。現在市内の集落協定は185集落、対象面積は3,559ha、交付金総額は4億9,500万円の見込みである。農地維持や事業の取組が一層厳しくなる事が予想される。事務負担軽減のため「竹田市地域農業経営サポート機構」による事務支援を行っている。今後は地域計画の策

定を基に担い手への農地集積・集約を維持するとともに、人材を融通し合う集落間の連携を支援するネットワーク化や農村型地域運営組織への事務委託や活動補充等を検討し、今後も本制度に積極的に取り組む。

その他
質問

- ・暮らしのサポートセンター事業について
- ・畜産環境問題について



第3回定例会 令和6年度一般会計補正予算

可決
修正可決

17億5,133万円増額（総額：225億8,114万3千円）

令和6年第3回定例会・予算特別委員会が9月17日に開催され、付託された一般会計補正予算を慎重審査した結果、令和6年度竹田市一般会計補正予算（第3号）については、全会一致で可決されました。（令和6年度竹田市一般会計補正予算（第4号）については、姉妹都市等交流に関する予算を削除する修正案が賛成多数で可決され、その修正部分を除く原案は全会一致で可決されました。）

補正予算の概要



◆総務費

定額減税調整給付金 4,000万円
令和5年度決算剰余金処理に伴う減債基金積立金 2億5,000万円
パラグアイ共和国のサン・ロレンソ市との万博国際交流プログラムに係る事業費 623万1千円

◆民生費

令和5年度の事業費確定に伴う障害福祉費等国・県負担金等返納金 7,903万1千円
児童手当給付事業費 6,779万5千円
住民税非課税世帯等給付金給付事業費 1,456万9千円
台風10号による被災者の住宅再建支援事業費 575万円

◆衛生費

令和5年度の事業費確定に伴う新型コロナウイルスワクチン接種事業費等国・県負担金等返納金 1,507万3千円

◆農林水産業費

農道維持管理事業に係る原材料支給費 500万円
森林保護整備事業費 880万円

◆商工費

観光施設等管理費 8,059万3千円
荻の里温泉ポンプ改修工事費 2,101万2千円

◆土木費

玉来川かわまちづくり事業費 1,111万円
道路維持補修事業費 4,164万円

◆教育費

中学校維持補修費 273万2千円
公民館（分館）管理運営費 484万7千円
旧竹田荘管理費として台風10号による風倒木被

害に対応する経費 196万9千円

◆災害復旧費

農地災害復旧費 5億8,750万円
農業用施設災害復旧費 3億4,286万円
林業施設災害復旧費 440万円
道路橋りょう災害復旧費 4,200万円
河川災害復旧費 750万円



市税 270万5千円
地方特例交付金 6,365万円
地方交付税 659万9千円
分担金及び負担金 1億7,768万2千円
使用料及び手数料 1万4千円
国庫支出金 1億4,342万6千円
県支出金 3億6,403万5千円
財産収入 887万2千円
寄附金 10万円
基金繰入金 2億2,157万5千円
繰越金 4億9,327万5千円
諸収入 5,718万2千円
市債 2億1,216万4千円



議決結果

令和6年
第3回定例会
令和6年9月3日～30日

議案等の議決結果

● 条例案

議案番号	件 名	結 果
報 告 第 5 号	専決処分事項「令和6年度竹田市一般会計補正予算（第2号）」について	承 認
議案第 70 号	竹田市議会議員及び竹田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	可 決
議案第 71 号	竹田市選挙公報の発行に関する条例の制定について	可 決
議案第 72 号	竹田市ウェイクケープルパーク施設設置条例の廃止について	可 決
議案第 73 号	竹田市国民健康保険条例の一部改正について	可 決
議案第 74 号	竹田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可 決
議案第 75 号	竹田市地域包括支援センターが実施する包括的支援事業に係る人員に関する基準を定める条例の一部改正について	可 決

● 予算案

議案番号	件 名	結 果
議案第 64 号	令和6年度竹田市一般会計補正予算（第3号）について	可 決
議案第 65 号	令和6年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算（第1号）について	可 決
議案第 66 号	令和6年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	可 決
議案第 67 号	令和6年度竹田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	可 決
議案第 68 号	令和6年度竹田市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	可 決
議案第 69 号	令和6年度竹田市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）について	可 決
議案第 80 号	令和6年度竹田市一般会計補正予算（第4号）について	修正可決

● 決算認定案

議案番号	件 名	結 果
認 定 第 1 号	令和5年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 2 号	令和5年度竹田市立こども診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 3 号	令和5年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 4 号	令和5年度竹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 5 号	令和5年度竹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 6 号	令和5年度竹田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 7 号	令和5年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 8 号	令和5年度竹田市久住高原荘特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 9 号	令和5年度竹田市水道事業会計決算の認定について	認 定
認定第 10 号	令和5年度竹田市簡易水道事業会計決算の認定について	認 定
認定第 11 号	令和5年度竹田市農業集落排水事業会計決算の認定について	認 定

●一般案

議案番号	件名	結 果
議案第 76 号	動産の買入れについて	可 決
議案第 77 号	財産の貸付けについて	可 決
議案第 78 号	大分県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	可 決
議案第 79 号	字の区域の変更について	可 決

●諮問案

議案番号	件名	結 果
諮 問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案の者 適任

●請願・意見書案

議案番号	件名	結 果
請 願 第 3 号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出についての請願	採 択
請 願 第 4 号	子どもたちのゆたかな学びの保障のための長時間労働是正を求める意見書採択の請願	採 択
意見書案第 4 号	地方財政の充実・強化に関する意見書	可 決
意見書案第 5 号	子どもたちのゆたかな学びの保障のための長時間労働是正を求める意見書	可 決

●決議案

議案番号	件名	結 果
附帯決議案第 1 号	令和6年度竹田市一般会計補正予算（第4号）に対する附帯決議について	可 決

■賛否一覧表 令和6年第3回定例会（令和6年9月3日～30日）

議案番号・件名		議員名（議席番号順）															審議結果
議案第70号	竹田市議会議員及び竹田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	可決
議案第80号に関する修正案			○		○	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	可決
議案第80号	令和6年度竹田市一般会計補正予算（第4号）について ※修正可決を行った部分を除く原案	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	可決
請願第4号	子どもたちのゆたかな学びの保障のための長時間労働是正を求める意見書採択の請願	○	○	○	○	-	○		○	○		-	○			-	採択
附帯決議案第1号	令和6年度竹田市一般会計補正予算（第4号）に対する附帯決議について	○	○			-	○		○	○	○	-	○			-	可決

表の見方…「○」：賛成、「-」：除斥、欠席などにより表決に加わっていない。※議長は表決に参加しないため、表決結果は「-」。

『任意制選挙公営制度』

の導入について

議会改革調査特別委員会 委員長 阿部 雅彦



令和5年3月23日、議長より議会改革を推進するための調査研究に関する項目の諮問を受け、議会改革調査特別委員会が発足した。いくつかある調査項目の中で、選挙に関するものは「議員定数」「投票率向上の取組」「任意制選挙公営制度」の3項目であった。「議員定数」については人口減少や財政状況を鑑み、現行の16人から14人に定数を削減した。「投票率向上の取組」については、期日前投票所の増設や投票所におけるサポートが必要とされる市民への告知を事前にしっかりと行うことを議長名で選挙管理委員会へ申し入れを行うようにした。

さて、「任意制選挙公営制度」の導入についてであるが、公職選挙法の一部改正を受け、令和6年9月時点において、47都道府県全ての知事と都道府県議会議員の選挙に選挙公営条例が制定済みである。また、全国の市区町村長と市区町村議会議員における選挙公営制度条例も9割を超えて制定されている状況である。大分県においても14市の中で8市が既にこの条例を制定しており、竹田市を除く残りの5市も導入に向けて検討中である。

竹田市議会においては、議会改革調査特別委員会が発足してから、この件について論議を重ねてきたが、選挙における無投票や定員割れは望まし

くないこと、市民が経済的な理由で立候補を断念することなく、誰もが立候補しやすい環境を作るべく、選挙公営制度の導入については、令和5年10月に議長名で市長に要望書を提出した。

この9月に開催された第3回竹田市議会定例会において任意制選挙公営制度条例案が提出され、本会議で起立採決により全会一致で可決された。この条例の内容は、項目と上限額が決まっており、市が負担する額は上限以内であり、使用された分のみ契約業者が市に請求することになっている。その項目とは、①選挙運動用の自動車の使用（自動車のリース料・ガソリン代・運転手の人件費）②ポスターやビラの作成費である。

以上議会改革の調査項目の検討結果の報告をしたが、その他、議会運営に関する常任委員会の数や議員間討議、議会中継、会派制についても引き続き慎重に調査研究を進める覚悟である。

用語解説

「選挙公営制度とは」

選挙公営制度は、お金のかからない選挙のため、また、候補者間の選挙運動の機会均等を図るために採用されている制度です。また、その内容は選挙の種類によって異なります。（総務省HPより）

議会人権研修会

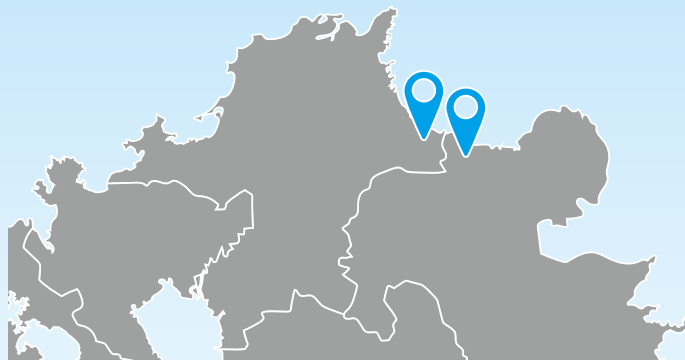
竹田市議会では、毎年議員を対象とした「人権研修会」を開催しています。

今年は、9月3日(火)に竹田市教育委員会社会教育指導員の原田英夫さんを講師としてお招きし、「多様な性について考えてみましょう～大丈夫ですか？あなたの無意識の偏見～」と題して講演を行っていただきました。アンコンシャスバイアス（無意識の思い込

み、偏見）とは、過去の経験、情報、知識、価値観が大きく影響しており、自分の中にある事を自覚することが大切であり、職場や家庭等、様々な場所でおこるハラスメントについて知見を広げ、人権の意義や人権尊重の必要性を正しく理解し行動することが大切であると再認識する研修となりました。

議会改革調査 特別委員会 行政視察報告

委員長 阿部 雅彦



福岡県豊前市議会を視察して



福岡県豊前市

豊前市は人口2万4千人、海と山に囲まれた風光明媚な環境と広々とした平地も合わせ持つ自治体で温泉にも恵まれている。しかしながら、若い世代の市外への流出に危機感を持ち、議会自らが企業誘致に取り組む特別委員会を設置し、積極的な取り組みを進めている。大いに見習い参考にすべき点であった。

議員定数は13名で竹田市議会と同規模である。議会運営で工夫している点は、3つの常任委員会を議員全員が複数掛け持ちで担当して議論をしたり、行政視察を実施したりしている点である。議決権の問題や行政視察の予算等を考慮すると課題もみえてくる。2つの常任委員会を設置し、定数を7名にして運営した方が議論も深まり、行政視察の費用を考慮しても望ましいのではないかと思います。次期市議会議員選挙の定数を14名にしている竹田市議会としては、議会改革として取り入れるべき考え方である。



大分県中津市議会を視察して

中津市は人口8万2千人、議員定数24名の自治体である。視察を実施した7月は1万円札の肖像画が福沢諭吉から渋沢栄一にバトンタッチされるという記念すべき時期での訪問となった。両者深い思いやりの心を持ち、市民のための政治を目指すべきという教えを説かれた方々であり、その考えを肝に銘じて研修に望んだ。

まずは、議会基本条例にもうたわれている議員間討議（自由討議）についての説明を受けた。中津市議会の素晴らしい点は、議会基本条例が施行される以前から自分たちでできることは率先して取り組むという前向きな姿勢で議員間討議を始めたことである。会派を中心にテーマを決め、本会議場で全議員で討議を行っている。成果としては執行部に対して政策条例提案や要望をあげており、議会としてはしっかりと市民のために取り組むべきことだと痛感した。

また、市民との意見交換会については分野別にテーマを設け、常任委員会ごとに市内の各種団体やグループと年に2回程度実施して成果をあげている。竹田市議会もこの秋には常任委員会ごとにテーマを決めて取り組む予定である。

その他、議会中継、会派制、災害時における議会の対応について学習した。今後の議会改革に活かしていきたい。



大分県中津市

県民スポーツ大会報告

議員陸上

今回は、議員リレーはやむをえず不参加となりましたが、竹田市に1点でも加勢したいという思いで、私と池見議員が100mにエントリーする予定でした。残念ながら100mは1市町村1人の議員のみ参加を認められるということでした。池見議員が選手として、私は監督として参加することになりました。二人でスタート練習、走り込みを行い、当日を迎えました。当日の大分市内はもの凄い暑さと湿気でアップは関節を動かす程度で終わりました。

参加すると参加点がもらえると認識していた私たちは、無理しないように走ろうということ saying していたのですが、よく確認してみると、どうやら1位8点、2位7点…8位1点で9位以下は0点だということがわかりました。

議員陸上100m参加者は9人。一人抜かないと、点数がもらえない…急にプレッシャーが

かかりました。不安を抱えながら、招集所に行くと、1人が招集時間を過ぎて来ない。そうです。1人棄権となりました。たとえ最下位になっても1点が追加されるということがわかり気楽に走れたと思います。最低限の役割を終え、ホッとした池見議員。私も怪我なく走れてホッとしました。のちに全体の結果を見て、0.5点の差で14位、また躍進1位の結果を見て、1点の積み重ねの大切さを痛感しました。

監督 賀籠六 めぐみ



第4回(12月)定例会日程のお知らせ

令和6年第4回(12月)定例会の議会日程(予定)をお知らせします。

- 11月26日(火) 議会運営委員会
- 11月29日(金) 本会議(議案の上程、諸報告ほか)
- 12月 5日(木) 本会議(一般質問)
- 6日(金) 本会議(一般質問)
- 9日(月) 本会議(一般質問)
- 11日(水) 本会議(質疑、委員会付託ほか)
予算特別委員会
- 13日(金) 総務常任委員会
- 16日(月) 産業建設常任委員会
- 17日(火) 社会文教常任委員会
- 20日(金) 議会運営委員会
本会議(委員長報告・採決ほか)

※会議の日程等は変更になる場合があります。
※その他、議会情報は竹田市議会ホームページをご覧ください。

議会を傍聴しませんか

所定の受付簿に住所・氏名等を記入するだけで、本会議や各委員会を傍聴することができます。どうぞ、お気軽においでください。

また、ケーブルテレビでも定例会初日の提案理由の説明と、一般質問及び代表質問の中継を行っています。

傍聴席には限りがあるため、希望者が多い場合にはご希望に沿えないこともあります。



写真提供者

井上 三郎 さん

竹田市久住町在住

Profile

1948年生まれ
社会福祉法人博愛会に入所して約40年、多くの写真を撮り溜めている。秋のタデ原湿原で素晴らしい写真を撮ることを今後の目標としている。

「市議会だより」についてのご感想をお寄せください。

頂いたご感想を今後の誌面構成等に活かして参ります。

発行：竹田市議会
編集：竹田市議会だより編集委員会
竹田市大字会々1650番地
TEL：0974-63-4813



竹田市議会

「たけた市議会だより」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。